

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

令和元年 10 月 30 日

和泉市長 あて

団体名 コーラスグループぶどうの木

代表者名 小山範子

所在地

電 話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 東日本大震災支援ボランティア体験プログラム&報告会
2. 事業の概要 下記のボランティア体験プログラムと報告会を実施する。
①コンサートの開催 ②うたごえひろばの開催
③現地視察 など
3. 事業費総額 565,000 円
(うち、対象経費 520,000 円)
4. 交付希望額 260,000 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい ・ いいえ)
6. 添付書類
(1) 団体概要調書（様式第2号）
(2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
(3) 事業計画書（様式第3号）
(4) 収支予算書（様式第4号）
(5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調査書

フリガナ	コーラスグループブドウノキ		
団体名	コーラスグループぶどうの木		
団体の目的	合唱を通じて、音楽文化の向上をめざすとともに、施設などでボランティア活動を行うことを目的とする。		
市内事務所の所在地			
	電 話		FAX
フリガナ	コヤマ ノリコ		
代表者氏名	小山 範子		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ ニッタヨシコ 新田 良子		電 話 FAX
設 立 年 月	2003 年 7 月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有 (回発行) ・ (無)	会員数	9 人
メールアドレス			
ホームページ	http://		
主な事業内容	海の日コンサートへの出演 ぶどうの木うたごえコンサートの開催 施設でのボランティア活動 福島県でのうたごえカフェの開催		
主な活動の実績	2003年から毎年、海の日コンサートに出演 2013年より毎年、クリスマスうたごえコンサート開催 プリムラ和泉、北部総合福祉会館、寺田町いきいきサロンに出演 2013年より毎年、福島県でうたごえカフェ開催		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

申込事業の名称	東日本大震災支援ボランティア体験プログラム&報告会	
事業の必要性 ＊別紙添付可	（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） 東日本大震災は、関西に住んでいる私たちにとっては過去の のことのようになっている。震災から9年。被災 地も大きく変化しています。メディアでもなかなか伝えら れていないので、実際現場に行き学ぶことが大切であ る。また、ボランティア体験をもとに「忘れない 寄り添 い 関わり続けたい」という、想いを広く市民に啓発する ことが必要である。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待 される効果）団体・参加者・地域全体のメリット等 1人では行けないし、どうすればボランティアができるの かが分からない人たちに、現実を知ってもらい、これからも 災害支援ボランティアに関わっていける人材を育成する。 また、そこでの体験を、和泉市に持ち帰り報告会を実施す ることで、和泉市民への啓発活動を行う。	
事業内容 ＊別紙添付可	（主な対象者） 和泉市民 体験プログラム参加予定者15人 報告会参加予定者 50人 （事業実施期間） 令和2年7月17～20日 3泊4日（前後バス泊） （事業実施場所） 体験プログラム：福島県いわき市 報告会（アイ・あいロビーのフェスタ参加） 開催場所：和泉中央アムゼ広場（イズミヤ前） （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてど の様な事業を実施するのか） ①コンサートの開催 ②うたごえひろばの開催 ③現地視察 等の体験プログラムを実施する。 体験プログラム終了後、和泉市で報告会を開催する。	
事業スケジュール	時期（月） 1月 から 7月 11月	内容 実施までに、会議を3回程度開催する。 現地との打合せ 東日本大震災支援ボランティア 体験プログラムを実施 報告会を実施する（和泉ボランティア・市民 活動フェスタに参加）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第5条・第12条関係）

収支予算書

事業の名称： 東日本大震災支援ボランティア体験プログラム&報告会

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	260,000 円	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	300,000 円	参加費 20,000×15 人
自主財源	5,000 円	寄付金 5,000 円
合 計	565,000 円	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
旅費	357,000 円	大阪～福島 夜行バス（往復） 23,000 円×15 人＝345,000 円 ガソリン代 7,000 円 高速料金 5,000 円
消耗品費	6,000 円	報告書インク代 用紙代
印刷製本費	4,000 円	チラシ・歌集・プログラム等の印刷、 簡易印刷（コピー）費、
役務費	13,000 円	ボランティア保険（災害ボランティア） 600 円×15 人＝9,000 円 郵送費 4,000 円
報償費	20,000 円	現地視察ガイド謝金 5,000 円×2 人 講師謝金 5,000 円×2 人
使用料	120,000 円	8人乗りレンタカー（2日間） 60,000 円×2 台＝120,000 円
その他（対象外経費）	45,000 円	宿泊費 3,000 円×15 人
備品費（対象経費）		
備品費（対象外経費）		
合 計	565,000 円	
対象経費	520,000 円	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ はい ・ いいえ ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

- ・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。
自主財源を増やし実施します

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第1号（第5条関係）

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

2019年 10月 30 日

和泉市長 あて

団体名 まちセミ・IZUMI 実行委員会

代表者名 新田 良子

所在地

電 話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 まちセミ・IZUMI 2020
2. 事業の概要 誰でも先生、誰でも生徒に。
同じ教室で子どもから大人までが机を並べて一緒に学ぶ
ワクワク・ドキドキの「学校ごっこ」
3. 事業費総額 250,000 円
(うち、対象経費 250,000 円)
4. 交付希望額 125,000 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい ・ いいえ)
6. 添付書類
 - (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第2号（第5条関係）

団体概要調書

フリガナ	マチセミイズミジッコウインカイ		
団体名	まちセミ・IZUMI 実行委員会		
団体の目的	「誰でも先生」「誰でも生徒」という、老若男女が集い笑顔あふれる新しい形の学びの場を作る。「ひとりの学び」が「みんなの学び」に。そして、「まちの学び」につながり、和泉市がステキなまちになることを目的とする。		
市内事務所の所在地			
	電 話		FAX
フリガナ	ニッタ ヨシコ		
代表者氏名	新田 良子		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名)※ フリガナ ニッタヨシコ 新田 良子		電 話 FAX
設 立 年 月	2019年8月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有 (回発行) ・ (無)	会員数	15人
メールアドレス			
ホームページ	http://machisemii.com		
主な事業内容	まちセミ・IZUMI の開催		
主な活動の実績	プレまちセミ・IZUMI (12月14日開催予定)		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

申込事業の名称	まちセミ・IZUMI 2020	
事業の必要性 *別紙添付可	（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） 本来「学び」は楽しいものだったはずなので、主体的な学びを取り戻し、老若男女が集い、笑顔あふれる新しい形の学びの場を和泉市でも作る必要がある。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果）団体・参加者・地域全体のメリット等 和泉市では、「シティプラザ」や「コミセン」などたくさんの「学びの場」があり、そこでたくさんの方が学ばれています。まちセミ・IZUMIは「ひとりの学び」が「まちの学び」につながるきっかけをつくることで、和泉市をステキな「まち」にしたい。	
事業内容 *別紙添付可	（主な対象者） 和泉市民 先生約 100 人 生徒約 1000 人（のべ人数） （事業実施期間） 令和2年11月23日（月・祝） （事業実施場所） 和泉市立北池田中学校 （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか） 同じ教室で子どもから大人までが机を並べてみんなで一緒に学ぶ、1日だけのわくわく・ドキドキ「学校ごっこ」を開催する。「誰でも先生」「誰でも生徒」という老若男女が集い笑顔あふれる新しい形の学びの場を作り、「ひとりの学び」が「みんなの学び」につながるきっかけなることを目指し、事業を取組む。	
事業スケジュール	時期（月） 12月 から 9月 10月 11月	内容 実施までに、会議を月に1回程度開催する。 先生説明会 ボランティア説明会 まちセミ・IZUMI 2020 開催

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第5条・第12条関係）

収支予算書

事業の名称：まちセミ・IZUMI 2020

1. 【収 入】 (単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	125,000 円	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	0 円	
自主財源	125,000 円	協賛金 125,000 円
合 計	250,000 円	

2. 【支 出】 (単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
消耗品費	45,000 円	文房具、のぼり作成費
印刷製本費	180,000 円	チラシ・プログラム等の印刷 60,000 円 パンフレットの印刷 120,000 円
役務費	15,000 円	ボランティア保険（行事保険） 30 円×500 人＝15,000 円
使用料	10,000 円	備品レンタル
その他		
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合 計	250,000 円	
対象経費	250,000 円	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり
上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

(☒ はい) ・ ☐ いいえ)

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

- ・ 申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。
自主財源を増やし実施します

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

2019年10月31日

和泉市長 あて

団体名 はつが野街づくり推進委員会

代表者名 森 茂樹

所在地

電 話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1 事業の名称 はつが野祭り

2 事業の概要 私たちの子どものために「みんなでいっしょにふるさと「はつが野」の思い出づくりをしましょう。」をテーマにして、祭りを通じてはつが野地域住民が親子ともども近隣、友達とのコミュニケーションおよび世代間交流を図り、心の通えるコミュニティをつくるため、アトラクション、ゲームブース、飲食ブース等を盛り込んだ、子供たちが楽しい思い出となる祭りを実施するもの。

3 事業費総額 2,000,000 円
(うち、対象経費 1,650,000 円)

4 交付希望額 800,000 円

5 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(い い え)

6. 添付書類

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	ハツガノマチヅクリスイシンイインカイ		
団体名	はつが野街づくり推進委員会		
団体の目的	はつが野自治会、はつが野三丁目自治会、はつが野松風台自治会からなるはつが野街づくり推進委員会が主催する はつが野祭りを通して地域住民の親睦を深め、世代間交流を推進する。		
市内事務所の所在地			
	電話		FAX
フリガナ	モリ シゲキ		
代表者氏名	森 茂樹		
連絡先 ※この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ モリ シゲキ 森 茂樹		電話 FAX
設立年月	平成24年4月	主な活動地域	はつが野一・二・三丁目
会報等の発行	無	会員数	1,250 人
メールアドレス			
ホームページ	はつが野自治会ホームページ内		
主な事業内容	1 はつが野街づくりに関する検討、協議を行う。 2 はつが野祭りの実施 3 その他この会の目的達成のために必要な活動		
主な活動の実績	○ はつが野祭りの実施 (1) H28, 11, 06 青葉はつが野小学校 参加者 約4,000人 (2) H29, 10, 29 青葉はつが野小学校 参加者 約2,500人 (3) H30, 11, 29 青葉はつが野小学校 参加者 約4,000人		
国・府・市及び各種団体等からの他の補助金及び委託実績 (過去3年間の実績を記載)	年度	名称	金額(円)
		なし	なし

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

申込事業の名称	はつが野祭り	
事業の必要性 * 別紙添付可	（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果） 団体・参加者・地域全体のメリット等 別紙 1 に記載	
事業内容 * 別紙添付可	（主な対象者） 参加予定者数 人 （事業実施期間） （事業実施場所） （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか） 別紙 2 に記載	
事業スケジュール	時期 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10 月 11 月	内容 イベントのテーマ、日時、場所、スケジュールの協議 演目、出演候補の選定、各ブロックブースの出し物の協議 舞台および音響設備、ブース経費、収支検討 運営計画書の提出、タイムテーブル、会場レイアウト、案内書の協議 事前準備と進行、作業分担の協議 案内パンフレット作成、地域住民への告知 はつが野祭りの開催

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

○ 事業の必要性

1 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等

はつが野地区は、URの開発から間もなく20年を迎える歴史の浅い住宅街であり、現在も開発が続き新しい住宅がどんどん建っており、人口も増加しています。

新しく入居されるほとんどの方は若くて小さな子供がいる家庭が多く、親は職場の同僚との交際が中心となり、近隣での交際範囲は狭く、浅く、遠慮がちで、地域住民としての連帯感が非常に稀薄です。

子どもは、近くの限られたごく少数の者としか遊ばず、多数の友達と遊ぶ機会がないので、他人に対する思いやりの心、譲り合いの心、助け合いの心、連帯感等が育くみません。また、世代間においても、隣の子どもの顔、近所のおっちゃん、おばちゃんの顔すら分からず、言葉をかけ合うことはほとんどないのが現状です。

2 申し込み事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果

このような状況下にあって、「はつが野祭り」を実施することにより、親同士が同地域住民として、もっと近隣者と親睦を図り親交を深めて、お互いに、困ったときには助け合い、喜びも悲しみも共に分かち合える連帯感の強い活気ある街をつくりたいと思います。

さらに、世代間においても、子どもたちが安全・健全な環境の中で、すくすくと育つように、大人と子供の交流を図り、地域の子どもは地域で育てるという連帯感を醸成させることが目的です。

子どもたちにとって「はつが野祭り」は、地域の大人と一緒にゲーム等をやることにより、顔見知りを増やし仲良く楽しく遊べる場であり、仲間を愛し、地域を愛し、情操豊かな心を育む場であります。やがて子供が

成長した暁には、はつが野が自分の「ふるさと」として、いつまでも心に残る

良い思い出づくりをして貰いたいと考えます。

○ 事業内容

1 主な対象者

○ 子ども（幼稚園・保育園児、小学生、中学生、高校生）

○ 参加予定者数 3,000人（子ども1,500人 大人1,500人）

2 事業実施期間

令和2年11月 1日（日）

3 事業実施場所

青葉はつが野小学校 グラウンド（雨天の場合は体育館）

4 どのような方法で、どのような事業を実施するのか

（1） 地域周辺の学校、団体、サークル等によるアトラクション

- ・ 南池田中学校生徒吹奏楽部演奏 ・ 幼稚園児ちびっこ鼓笛隊
- ・ フラダンス ・ こどもジャズダンス ・ バレー発表 等

（2） 自治会員によるゲームブース

- ・ 金魚すくい ・ くじ引き ・ ミニグランドゴルフ
- ・ あめちゃんすくい ・ スピードガン ・ 囲碁将棋 等

（3） 地域内の飲食業者による飲食ブース（原価販売）

- ・ からあげ ・ やきそば ・ クレープ ・ ポップコーン 等

以上のイベント等を行い、すべての参加者が楽しめる
はつが野祭りを開催する。

収支予算書

事業の名称： はつが野祭り

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	800,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	400,000	各ブースからの売上金（10ブース）
自主財源	300,000	各自治会支出金（はつが野、はつが野3丁目、はつが野松風台）
協賛金	500,000	近隣の 商店、企業、医療施設 等
合 計	2,000,000	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
委託料	250,000	舞台音響設備費
報償費	200,000	演目出演者支払
消耗品費	640,000	各ゲームブース材料代、ネームホルダー等
印刷・製本費	80,000	開催案内、パンフレット等の印刷
賃借料	470,000	レンタカー、テント、机等
役務費	10,000	通信費
食料費（対象外）	150,000	スタッフ弁当代（300人）
賞品代（対象外）	150,000	家庭電気製品等
その他（対象外）	50,000	役員会資料印刷費等
合 計	2,000,000	
対象経費	1,650,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ はい ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

「経費削減、規模の縮小により経費の削減を図ります。」

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第1号（第5条関係）

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

令和元年10月31日

和泉市長 あて

団体名 四季の味覚祭 実行委員会

代表者名 長尾徳一

所在地

電話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 四季の味覚祭 ～地産地消による地域活性化イベント～
2. 事業の概要 ①春の味覚祭（4月だけのこまつり） ②夏の味覚祭（7月すいかまつり） ③12月の味覚祭（みかんまつり）
④冬の味覚祭（2月柑橘まつり）
3. 事業費総額 620,000 円
(うち、対象経費 620,000 円)
4. 交付希望額 310,000 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい ・ いいえ)
6. 添付書類
 - (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第2号（第5条関係）

団 体 概 要 調 書

フリガナ	しきのみかくさいじっこういいんかい		
団体名	四季の味覚祭実行委員会		
団体の目的	和泉市南部地域の活性化 農業商業の振興に寄与する。		
市内事務所の 所在地			
	電 話		FAX
フリガナ	ながお とくかず		
代表者氏名	長尾 徳一		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ モリマサ ノブヒコ 森政 信彦		電 話 FAX
設 立 年 月	年	月	主な活動地域 和泉市
会報等の発行	有（ 回発行）・無		会員数 222 人
メールアドレス	@		
ホームページ	http://		
主な事業内容	和泉市南部地域の活性化・農業商工の振興を図るために、 四季折々の野菜と触れ合えるイベント「四季の味覚祭」を開催する。		
主な活動の実績	春季・夏季・秋季・冬季イベント		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
		該当なし	

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

申込事業の名称	四季の味覚祭～地産地消による地域活性化イベント～	
事業の必要性 *別紙添付可	（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） 和泉市南部地域における活性化策として、和泉市の特産品である農産物や加工品等を広くPRする必要がある。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果）団体・参加者・地域全体のメリット等イベントを通じて南部地域住民のコミュニティづくりと和泉市の特産品でもあるみかんやたけのこ等のPRも行い農業、商工業振興の一助とする。	
事業内容 *別紙添付可	（主な対象者） 和泉市民及び道の駅利用者 参加予定者数 1日約2千人 （事業実施期間） 春季イベント4月・夏季イベント7月 秋季イベント12月・冬季イベント2月 （事業実施場所） 和泉市南部リージョンセンター 道の駅エリア （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか） 四季を通じてのイベントを開催することで、地域住民の心のふれあい、助け合いの精神を浸透させる。農業・商工業の発展につなげる。	
事業スケジュール	時期 (月)	内容
	4月	春の味覚祭 たけのこ祭り (よしもと芸人賑わい)
	7月	夏の味覚祭 すいかまつり (よしもと芸人賑わい)
	12月	12月の味覚祭 みかんまつり (よしもと芸人賑わい)
	2月	冬の味覚祭 柑橘まつり (よしもと芸人賑わい)

収支予算書

事業の名称： 四季の味覚祭～地産地消による地域活性化イベント～

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	310,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入		
自主財源	310,000	出荷協力協賛金
合 計	620,000	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	280,000	芸人出演報償費
消耗品費	80,000	屋台・イベント用おもちゃ等
食料費	10,000	スタッフ作業時飲料代
印刷製本費	70,000	チラシ、ポスター印刷代
役務費	20,000	クリーニング代・配達手数料等
原材料費	160,000	試食・食飲材料 40,000 円×4回
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合 計	620,000	
対象経費	620,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ ☒ はい ） ・ いいえ ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・ 申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

事業規模縮小、出店用消耗品・食材の単価の見直し等を行います。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

2019年10月31日

和泉市長 あて

団体名 一般社団法人いずみ障がい福祉サービス事業所団体連合会

代表者名 樽本知子

所在地

電 話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 ハートフルフェスタ2020
2. 事業の概要 障がいのある方の日頃の活動の成果発表の場と、ゲストを迎え、当事者・支援者・ボランティア・一般の方たちと、ともに創り上げるイベント。
3. 事業費総額 638,000円
(うち、対象経費 618,000円)
4. 交付希望額 300,000円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい) ・ いいえ)
6. 添付書類
 - (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第2号（第5条関係）

団体概要調書

フリガナ	イッパンシャダンハウジン イズミショウガイフクシサービスジギョウ ショダンタイレンゴウカイ						
団体名	一般社団法人いずみ障がい福祉サービス事業所団体連合会						
団体の目的	障がい福祉サービス事業所とその事業所を支える個人や地域の活力を引き出し、泉州福祉圏域の自立的な発展と、障がいのある方やその家族の生活の質の向上を図ることをその使命に掲げ、これにより「共に生きる社会」の実現を担う者として、障がいのある方やその家族、行政と共にその実現に寄与することを目的とする。						
市内事務所の所在地	<table border="1"> <tr> <td>電 話</td> <td></td> <td>FAX</td> <td></td> </tr> </table>			電 話		FAX	
電 話		FAX					
フリガナ	タルモト トモコ						
代表者氏名	樽本 知子						
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	（連絡責任者氏名）※ フリガナ タムラ ヒデユキ 田村 英之		<table border="1"> <tr> <td>電 話</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FAX</td> <td>()</td> </tr> </table>	電 話		FAX	()
電 話							
FAX	()						
設 立 年 月	平成27年 7月	主な活動地域	和泉市				
会報等の発行	有 (回発行)	無	会員数 20施設				
メールアドレス							
ホームページ	http://www.facebook.com/syousaren						
主な事業内容	各種イベントを通じた会員事業所利用者の地域交流や日頃の活動の発表の場づくり、障がいや障がいのある方の理解の啓発、障がいのある方たちの、会員事業所間共通の課題収集と解決、障がい福祉の増進をはかるための意見集約と発信、障がい福祉サービスに従事する人材の育成など。						
主な活動の実績	【ハートフルフェスタ2016】（後援：和泉市、和泉市教育委員会、和泉市社会福祉協議会等 場所：人権文化センター 参加者：486名） 【プチハートフルフェスタ2017】（場所：和泉市立コミュニティ体育館 参加者：約400名） 【ハートフルフェスタ2019】（場所：和泉シティプラザ弥生の風ホール 参加者：約500名） 【和泉きらめきマルシェ2019】（後援：和泉市、大栄環境株式会社 場所：和泉リサイクル環境公園 参加者：約120名） 【風船バレーボール大会2018、2019】（場所：和泉市立コミュニティ体育館 参加者：約400名） 【和泉市自立支援協議会、施策推進協議会】関係団体機関として参加。 【いずみの国観光おもてなし処清掃作業】近畿日本ツーリストより受託。						

国・府・市及び各種 団体等からの他の補 助金及び委託実績 (過去3年間の実績 を記載)	年度	名称	金額(円)
	28	和泉市いずみの国観光おもて なし処清掃業務	738,387円
	29	和泉市いずみの国観光おもて なし処清掃業務	761,523円
	30	和泉市いずみの国観光おもて なし処清掃業務	113,064円

事業計画書

申込事業の名称	ハートフルフェスタ2020
事業の必要性 *別紙添付可	【事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等】 多様性を認める社会やユニバーサルデザインや合理的配慮などが求められ始めた今、各福祉サービス事業所それぞれでその課題について色々な活動などを通じて頑張っているが、点が線や面にならない状況が続いていて、本当の意味での地域交流などの機会が少ない。 【申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果、団体・参加者・地域全体のメリット等】 障がいのある方や障がいについて、社会に誤解をうけるのは、障がいのある方や障がいについて理解されていないから。感動の対象にされるのではなく、自主的に地域へ参加するイベントを開催することで、お互いを知るという目的を共有し、障がいのある方もない方も、支援者もボランティアも分け隔てなく一緒に楽しむ。その中で、時代が必要としている課題に参加者それぞれが取り組み、新しい自分を発見できるということにつながるため。 また、和泉市のまちづくりの目標でもある安全・安心の促進や和泉市の目指す将来像にあるスマイル都市への一翼を担うことで、我々の活動が、広く和泉市民の方たちに理解を得られることにつながり、地域へ貢献できることになる。
事業内容 *別紙添付可	【主な対象者】 和泉市の一般の方、地域の障がいのある方と支援者とその家族など 参加予定者数 500 人 【事業実施期間】 11月17日（火） 【事業実施場所】 和泉シティプラザ 弥生の風ホール 【問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか】 イベントを、障がいのある方やない方とともに創り上げることで、お互いの理解を深めようという試み。 ただイベントを観ることだけでなく、一緒に参加できる形にすることで、「理解」へ至るためのコミュニケーションや気づきなどのプロセスを共有できる。多様な人達が、同じものに感動することやつくり上げていく中でお互いを理解することなど「共感」の部分大切にしたいイベント。

事業スケジュール	時期 (月)		内容
	'19	1 2	
	'20	1	・実行委員会議開催、ハートフルフェスタ2019の振り返り
		2	・会場（弥生の風ホール）予約
			・いずみ障サ連定例会：2020 実行委員会発足
			・第1回実行委員会
		5	～月1回実行委員会開催～
		6	・会場視察・打ち合わせ、ゲスト決定
		7	・プログラム、フライヤー、ポスター、パンフレットなど広報物企画打ち合わせ
		9	・会場装飾物発注
			・広報物、装飾物、揃う
		10	・会場打ち合わせ
			・フライヤー、ポスター配布開始
			・市長、教育長、社協、衆議院、府・市議会議員など式典への参加依頼
		11	・会場と最終打ち合わせ
			・本番

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： ハートフルフェスタ2020

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	300,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	300,000	協賛金（各加盟事業所への）
自主財源	38,000	令和2年度行事費
合 計	638,000	

2. 【支 出】

(単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	170,000	出演料、手話通訳・筆記通訳士、撮影、司会
旅費	20,000	出演者・撮影・司会交通費及び駐車代
消耗品費	30,000	風船（演出用）、文具（芳名録など）、名札等（来賓者用）、花束
食料費	10,000	出演者、撮影者、司会者など昼食とお茶
印刷製本費	100,000	A4チラシ、A2ポスター、プログラム、会議資料
役務費	3,000	保険
委託料	15,000	警備員
使用料	270,000	弥生の風ホール（機材・控室、オペレーター代含む）、プロジェクターレンタル
食糧費（対象外）	20,000	スタッフ昼食等
合 計	638,000	
対象経費	618,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ ☒ はい ・ いいえ ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・ 申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

3役会議、役員会を開催し、補正予算を組み団体からの支出を増やす。

各加盟事業所からの負担金の協力を求める。

報償費の減額を依頼、チラシの内容や枚数などの変更で経費を削減します。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。
※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

令和元年10月31日

和泉市長 あて

団体名 特定非営利活動法人
こどもNPOセンターいずみっ子

代表者名 弓削 任代

所在地

電話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 おもしろ体験型市場「こども市」
2. 事業の概要 子どもたちが、自由な発想で自分のお店をつくり、マーケットを形成。
次世代を担う青年や大人が、サポーター（支援者）として協働する。
3. 事業費総額 158,000 円
(うち、対象経費 148,000 円)
4. 交付希望額 74,000 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい ・ いいえ)
6. 添付書類
 - (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団 体 概 要 調 書

フリガナ	トクテイヒエイリカツドウホウジン コドモエヌピーオーセンターイズミッコ		
団体名	特定非営利活動法人 こども NPO センターいずみっ子		
団体の目的	子どもたちの豊かな子ども時代を保障し、子どもも大人も育ち合える地域づくりを目的とし、乳児から青年までの成長を見通した各々の世代の体験の場と、異世代の交流の場を創造し、地域社会の発展に貢献する活動を継続して実施する。		
市内事務所の所在地			
	電 話		F A X
フリガナ	ユゲ タダヨ		
代表者氏名	弓削 任代		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ マルヤマ ミツヨ 丸山 光代		電 話 F A X
設 立 年 月	活動開始 1993 年 10 月 法人格取得 2004 年 10 月	主な活動地域	和泉市内
会報等の発行	(有)年間12回発行)・無	会員数	154人
メールアドレス			
ホームページ	https:// izumikko.org/		
主な事業内容	・子育て支援事業 ・子どもの体験活動 ・異年齢交流活動 ・鑑賞活動 ・講演会、講習会の実施		
主な活動の実績	・こどもキャンプ(7月・2泊3日) ・演劇体験ドラマスクール月2回実施 ・「何でもありコンサート」開催(12月) ・和泉市子育て支援地域拠点施設事業 ・異年齢交流野外活動(2月) ・親子クッキング ・鑑賞活動 ・ファミリーサポート事業		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	H28年度	子どもゆめ基金 和泉市文化協会活動助成	389,000 円 50,000 円
	H29年度	子どもゆめ基金 大阪府芸術文化振興事業	481,000 円 277,000 円
	H30年度	子どもゆめ基金 大阪府芸術文化振興事業 和泉市文化協会活動助成	497,000 円 186,000 円 50,000 円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

申込事業の名称	おもしろ体験型市場「こども市」	
事業の必要性 *別紙添付可	(事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等) 子どもが主体となって社会や地域へ参加する機会が少なくなり、異年齢との接点が減っている。また、仲間と協働する体験も貴重なものとなっている。 加えて、大人側へも地域社会で子どもを育む動機を促したい。 (申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果) ・実際の金銭の流通を組み入れることにより、子ども自身が出店者としてブースを管理する責任と、必要性を自覚する。 ・仲間と協力することの大切さを体験する。 ・働くという未来体験につながることを期待する。 ・様々な年齢の人と接することを体験する。	
事業内容 *別紙添付可	(主な対象者) 小学生以上の子ども 参加予定者数 出店：100人 (事業実施期間) 令和2年5月10日(日) (事業実施場所) エコールいずみ アムゼ広場 (問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか) 子どもたちが、自由な発想で出店に臨み、マーケットを形成。そこで仲間と協働すること、様々な年齢の人と接することを体験する。こども銀行をはじめとし、子どもが責任を担う設定が随所にある。出店参加者、学生スタッフ、大人スタッフ、来場者のすべてが、「こども市」を形成する一員である。子どもたち本来のはつらつさと、一生懸命な姿に触れることができ、地域社会での子どもの育みの必要性を実感してもらえる取り組みである。	
事業スケジュール	時期(月) R2年1月 2月～ 3月 4月 5月 5月10日	内容 学生・おとなスタッフ募集 出店者募集開始 市内全小学校にチラシ配布(出店募集) 第1回出店者向け説明会 スタッフ・音響技術者・司会者、打ち合わせ会議 ビジネスマナー講座 第2回出店者向け説明会 市内全小学校にチラシ配布(開催告知) こども市店長会議 (出店する代表者とスタッフの最終会議) スタッフ打ち合わせ会議(現地下見、確認作業) こども市当日 8:00スタッフ集合 13:30こども市閉店 9:00出店者搬入開始 14:00後かたづけ 10:00オリエンテーション 15:00解散 10:30こども市開店

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第5条・第12条関係）

収 支 予 算 書

事業の名称 : おもしろ体験型市場「こども市」

1. 【収 入】

（単位：円）

項目	金額	精算根拠
支援金	74,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	3000	出店参加費
自主財源	81,000	
合計	158,000	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	精算根拠（数量、単価等）
報償費	23,000	ビジネスマナー講師謝礼、銀行員への参加賞、音響技術者謝礼
旅費	10,000	講師、スタッフ交通費
消耗品費	55,000	インク、文具、テープ類、用紙代、など
食料費	10,000	お茶（200円×45人）、講師昼食代
食料費（対象外）	10,000	スタッフ打合せお茶代、スタッフ当日昼食代
印刷製本費	30,000	チラシの印刷、カラーコピー代
役務費	2,000	郵便料、指定ゴミ袋
使用料及び賃借料	18,000	機材の運搬車使用料、賃借料
合 計	158,000	
対象経費	148,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

交付決定額が交付申請額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ はい ・ いいえ ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか？

（ 自主財源の追加でまかいます ）

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

令和元年 10月 26日

和泉市長 あて

団体名 ローズウッドー

代表者名 薬袋 朋子

所在地

電 話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 アロマテラピーで植物の香りのある暮らし
アロマヨガ体験
2. 事業の概要 植物の芳香成分である「精油」を使って、
アロマヨガ体験を開催します。
3. 事業費総額 156,140 円
(うち、対象経費 156140 円)
- 4 交付希望額 78,070 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい) ・ いいえ)
6. 添付書類
 - (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	ローズウッドー		
団体名	ローズウッドー		
団体の目的	技術と資格を活かしながら、地域活動、社会貢献できるような活動を目指し、子どもから大人まで、幅広く提供できるような企画の充実を図り、私たち自身スキルアップし、地域に貢献することを目的としています。		
内務所の所在地			
	電 話		FAX
フリガナ	ミナイ トモコ		
代表者氏名	薬袋 朋子		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ ミナイ トモコ 薬袋 朋子		電 話 FAX
設 立 年 月	平成 24 年 1 月	主な活動地域	和泉市、泉大津市、 大阪市 堺市
会報等の発行	有 (——— 回発行) ・ 無	会員数	7 人
メールアドレス			
ホームページ	http://		
主な事業内容	高齢者のためのアロマハンドトリートメント普及活動 緩和ケア病棟でのハンドケア活動 子ども香育活動（和泉市、大阪市） 和泉市小学校行事、和泉市人権・男女共同参画室オアシス助成金事業、 エンパワメント活動助成事業、		
主な活動の実績	平成31年度 大阪市淀川小学校他 香育活動 アロマで認知症予防(12月予定)、リフレッシュ&リラックスアロマ(4/27)、 婦人会 自治会イベント(不定期) ちよいず和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業「アロマセラピーで植物のかおりのある暮らし」(全3回)11月16、24、30日実施予定 和泉市男女共同参画センター働く女性応援講座セミナー「アロマでリフレッシュ&リラックス」(4/24.27) 和泉市人権・男女共同参画室モアいずみ 令和2年2月アロマヨガ(全2回) 予定 オアシス助成事業(11/23 実施予定 親子でフランス料理に初挑戦)		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

申込事業の名称	アロマセラピーで植物の香りのある暮らし アロマヨガ体験	
事業の必要性 *別紙添付可	（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） 私たちはさまざまなストレスに囲まれて生きています。 職場、地域、学校、家庭などで、ストレス性の疾患が増えています。健康を害し、ココロの病気が社会問題になっている 昨今、アロマで皆さん、ひとりひとりのストレス緩和、軽減 することができることを提案し、提供できるように推進します。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果） ストレスを緩和し、ココロに作用する「アロマセラピー」 は、子どもから大人、高齢者まで、不眠障害、ストレス、更年期障害、不安や疲労、リフレッシュ、リラックスに効果があります。 前年度よりアロマの香りで呼吸を深め、ココロとカラダを癒やしながら、ストレッチや体をほぐすヨガを合わせたアロマ ヨガを実施。アロマヨガのリフレッシュ＆リラックス効果を 期待できます。 当該事業を通じて、高齢者、子どもから大人まで、不安や疲労、緊張を、解消することにより、ココロやカラダの病気の 改善、高齢者のストレス、不眠などの不調に効果を期待し、 精神のバランスをとり、恒常性を維持できるからだづくりを 目標にします。	
事業内容 *別紙添付可	（主な対象者） 高齢者、子どもから大人まで 参加予定者数 70名 （事業実施期間） 令和2年4月1日～令和3年3月21日 （事業実施場所）和泉市内（和泉シティプラザなどで予定） （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いて どのような事業を実施するのか） 年3回、和泉市内の施設等で、スポーツアロマ体験を開催します。高齢者や、ストレスを感じている人が、参加促進できるよう、和泉市営施設、自治会、地域イベントなどで、当該事業を市民周知し、啓発活動に取組みます。	
事業スケジュール	時期(月) 10月 11月	内容(年3回) スポーツアロマ体験 アロマヨガ体験

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第5条・第12条関係）

収支予算書

事業の名称： アロマテラピーで植物の香りのある暮らし アロマヨガ体験

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	78,070	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	35,000	参加費 500 円×70 名 （アロマ体験、精油選び） 全 3 回分
自主財源	43,070	
合 計	156,140	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
旅費	9,400	交通費（講師 2 名大阪市内）（3 回分）
印刷製本費	12,960	チラシ印刷費、コピー費、長尺ロール他
使用料及び賃借料	8,100	シティプラザ和室×3 回分
消耗品費	29,680	精油、容器、瓶、キャリアオイル、文房具、PPC 用紙、インク代、名札、ラミネート、紙コップ、ハーブ他
報償費	78,000	講師謝金（2 名 3 回分、参加賞）
委託料	18,000	保育料(3 回分)
合 計	156,140	
対象経費	156,140	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ はい ・ いいえ ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

実施回数を変更する

当日の有資格者を減らす等で、各種必要経費を減算します。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

令和1年10月31日

和泉市長 あて

団体名いずみの国のいつくしみ市実行委員会

代表者名 大内 郁美

所在地

電 話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 いずみの国のいつくしみ市

2. 事業の概要 体と心と自然にやさしいナチュラルマーケットと
地域をつなぐまちづくりカフェ
いずみの自然の豊かさ大切さを伝える紙芝居や写真展・アート展
いずみの自然を使った手仕事と自然遊びなど

3. 事業費総額 90,000 円
(うち、対象経費 90,000 円)

4. 交付希望額 28,750 円

5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい)

6. 添付書類

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団 体 概 要 調 書

フリガナ	イズミノクニノイツクシミイチジッコウインカイ		
団体名	いずみの国のいつくしみ市実行委員会		
団体の目的	古来より受け継がれてきたいのちの源である大事な和泉の自然を、今に生きる私たちがいつくしみ、そして未来へと手渡していく。そんないのちをいつくしむ文化をみんなの手で作りたいと始まった会です。 「いずみの国のいつくしみ市」にまつわる活動を通して【人と人】【人と自然】をつないで、心豊かで持続可能なまちにしていける事が目的です		
市内事務所の所在地			
	電 話		FAX
フリガナ	オオウチ イクミ		
代表者氏名	大内 郁美		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ ミワ マサミ		電 話
	三輪 雅美		FAX
設 立 年 月	H26 年 6 月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	無	会員数	5 人
メールアドレス			
ホームページ	https://www.facebook.com/itsukushimimeguruichi/?fref=nf		
主な事業内容	いずみの国のいつくしみ市 谷山池ガルテン自然遊び・自然観察会 まちづくりカフェ		
主な活動の実績	いずみの国のいつくしみ市（第1回～第6回） 谷山池ガルテン自然遊び（焼き芋大会、オーガニックコットンを植えよう、ジャガイモを植うえよう、ジャガイモ堀、大豆を植えよう、生き物観察、ミツバチの巣箱づくり）まちづくりカフェ①～②		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 （過去3年間の 実績を記載）	年度	名称	金額（円）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

申込事業の名称	いずみの国のいつくしみ市	
事業の必要性 *別紙添付可	（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） 自然豊かな和泉市ですが当たり前にあるために、その価値が伝わっていない感があり、共生も外へ向けてのアピールも出来ておらず、生かし切れていないのが現状です。 一方で、新興住宅地では子どもたちの遊び場がなく、自然とのかかわりが少ないばかりか、ゲームをやらざるを得ない状況があります。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果）団体・参加者・地域全体のメリット等 子ども時代に、「どれだけ自然の中で自由に遊べたか」が子どもの想像力または創造力につながってきます。また心身の健全な成長にもつながります。 そこで、すぐそこにあるいずみの自然遊びを企画して、子どもたちに日常的に体験してもらうことで少しでも課題を緩和する。 また、ナチュラルマーケットを通してより多くの人たちに楽しみながら、その大切さを感じてもらうことを目標としています。 人と人、人と自然をつなぐことでより効果が期待でき、地域活性にもつながります。	
事業内容 *別紙添付可	（主な対象者） いずみの国在住の老若男女。主に親子連れ・参加予定者数 1000 人 （事業実施期間）2020 年 4 月～2021 年 3 月 （事業実施場所）石尾山弘法寺、谷山池ガルテン、アイあいロビー 他 （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか） いずみの国のいつくしみ市（ナチュラルマーケット） 谷山池ガルテン自然遊び（焼き芋大会、生き物観察、自然素材で手仕事、ロケットストーブづくり・・・など） まちづくりカフェ、南横山の自然観察、自然遊び	
事業スケジュール	時期（月） 4 月 5 月～6 月 7 月 9 月～10 月 11 月 1 月～2 月	内容 お花見、春の野の草遊び はらっぱピクニック 池観察、自然観察会、自然素材で手仕事 ※いずみの国のいつくしみ市準備開始 木の実あそび いずみの国のいつくしみ市 池のほとりの森しごと 草刈りとたき火と焼き芋大会 自然観察会

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： いずみの国のいつくしみ市

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	28,750	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	32,500	ブース料 2,500×13
自主財源	28,750	
合 計	90,000	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
印刷製本費	20,000	12000 枚 A4 両面カラー印刷, その他
役務費	3,000	チラシ、案内等郵送費
消耗品費	10,000	コピー用紙, 模造紙, 各種ボード他
使用料及び賃借料	5,000	いつくしみ市会場使用料
食料費	32,000	お茶 200 円×60 人（ボランティア, スタッフ用） 講師, 演奏者弁当 1,000×20
報償費	20,000	外部講師への謝礼 5,000×4 人
合 計	90,000	
対象経費	90,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ はい ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

- ・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

弁当、飲料などの単価を低いものにしたりチラシ等の印刷費を削減していきます

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

令和元 年 10 月 31 日

和泉市長 あて

団体名 いずみしっぽクラブ

代表者名 桜井 好美

所在地

電 話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 犬の保護・里親とのマッチング活動 動物愛護啓発活動
2. 事業の概要 動物愛護の精神に基づき、社会全体で厳しい環境下にいる
犬等 動物の保護を通して、人と動物がしあわせに共生
出来る社会をめざします。
3. 事業費総額 800,000 円
(うち、対象経費 800,000 円)
4. 交付希望額 400,000 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(☒ はい ・ いいえ)
6. 添付書類
 - (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第2号（第5条関係）

団体概要調書

フリガナ	イズミシップクラブ		
団体名	いずみしっぽクラブ		
団体の目的	「動物の殺処分ゼロ」を目標とした啓発活動および動物（犬）の保護・里親とのマッチングを行い、人と動物がしあわせに共生出来る社会をめざします。		
市内事務所の所在地			
	電 話	F A X	
フリガナ	サクライ ヨシミ		
代表者氏名	桜井 好美		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ サクライ ヨシミ 桜井 好美		電 話 F A X
設 立 年 月	2012 年 9 月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	☒ (随 時 発 行) ・ 無	会員数	9 人
メールアドレス			
ホームページ	http://		
主な事業内容	社会全体で、虐待や多頭飼育崩壊などで苦しむ動物（犬）のレスキューを行うと共に、里親譲渡活動を行います。 レスキューした犬に関しては、必要な手術・検査等を行います。 終生飼っていただける家族とのマッチングは慎重に行います。		
主な活動の実績	繁殖犬。多頭飼育崩壊の現場から犬のレスキューを行い、病院で治療を行う。里親捜しから、トライアル。正式譲渡までの活動。 啓発事業として、厳しい環境に置かれている犬や猫の現状をしっていただく活動、不定期ですが新聞の発行・活動報告を行っている。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

申込事業の名称	犬の保護・里親とのマッチング活動 動物愛護啓発活動	
事業の必要性 *別紙添付可	（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） 人間の身勝手な行動により、飼育放棄される犬が多くいます。また、悪徳なブリーダーや業者がはびこり、社会問題になっている現実があります。人気の犬種に関しては繁殖犬とし劣悪な環境で子どもを産ませ続け、用をなさなくなったら捨てるという非道な実態があります。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果）団体・参加者・地域全体のメリット等啓発活動を根気よく続けながら、この悪循環を絶ち、社会全体で動物との共生社会をめざし「殺処分ゼロ」の実現を目標といたします。	
事業内容 *別紙添付可	（主な対象者） 和泉市民 参加予定者数 100人 （事業実施期間） 令和2年4月～令和3年3月 （事業実施場所） 和泉市内全域 （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか） 啓発活動に努め、虐待や飼育放棄される犬を保護し、里親譲渡活動を行います。また保護した犬について、里親譲渡までに医療機関でのウィルス検査や病気及び怪我の治療を施します。	
事業スケジュール	時期 （月） 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	内容 2ヶ月に1回程度の定例会を開催し、保護が必要な動物の情報交換や活動報告を掲載する新聞作成に関する打ち合わせを行う。 啓発事業として、様々なイベントへ参加するとともに活動報告を掲載する新聞・チラシを作成し、幼稚園等の施設に配布する。 必要に応じてレスキュー依頼があれば、メンバーが保護に向かい、保護した動物（犬）の里親譲渡活動を適時に実施する。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称：犬の保護・里親とのマッチング活動・動物愛護啓発活動

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	400,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	100,000	会費
自主財源	300,000	寄付金
合 計	800,000	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
旅費	50,000	交通費・燃料費・高速代金
消耗品費	320,000	餌代（4,000円／1ヶ月×12ヶ月×5匹） 240,000円 ペットシート・リード・シャンプー おしめ、清掃道具 など一式 50,000円 インク代、用紙代、文房具 30,000円
委託料	400,000	不妊去勢手術（1万円×10匹） 100,000円 血液検査（5,000円×10匹） 50,000円 病気、怪我治療費 250,000円
使用料及び賃借料	30,000	譲渡会会場使用料
備品費(対象経費)	0	
備品費(対象外経費)	0	
合 計	800,000	
対象経費	800,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ ☒ はい ・ ☐ いいえ ）「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

フリーマーケットへの参加、啓発活動を通じて寄付金を募る
譲渡会開催時に、譲渡費用をいただくなど

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

審査対象団体リスト(それぞれの項目について○(可)・△(疑問)・×(否)の何れかを記入し、△又は×の場合は、その理由を理由欄に記入してください。)

【資料-5】

番号	団体名	事業名	団体要件	事業要件	対象経費	市民利益寄与	計画の 具体性・ 成果見込み	理由
1	和泉市青少年少女合唱団	和泉市青少年少女合唱団						
2	あおばお助け隊	あおばお助け隊						
3	のぞみ野街づくり推進委員会	第16回 のぞみ野夏まつり						
4	ミータスコア・グループ未来	宮崎剛の「第九」ファミリーコンサート2020～ ベートーヴェン生誕250年によせて～						
5	和泉市音楽家連盟「音の和」	和泉市音楽家連盟「音の和」13thコンサート 2020 名曲いずみんピック(仮)						
6	S" yoga	YOGA Hundred in 和泉						
7	いぶき野夏祭り実行委員会	令和2年度いぶき野夏祭り						
8	青葉はつが野世代間交流推進委員会	第39回 青葉台夏まつり						
9	一般社団法人和泉青年会議所	第9回 わんぱく相撲 和泉場所						
10	和泉の国ジャズストリート実行委員会	第15回『和泉の国ジャズストリート2020』						
11	和泉だんじり大連合青年部	和泉だんじり祭り継承事業						
12	松尾連合地車連絡協議会	松尾連合地車祭継承事業						
13	モア21	米作りプロジェクト						
14	MOA美術館和泉市児童作品展実行委員会	第32回MOA美術館和泉市児童作品展						

審査対象団体リスト(それぞれの項目について○(可)・△(疑問)・×(否)の何れかを記入し、△又は×の場合は、その理由を理由欄に記入してください。)

【資料-5】

番号	団体名	事業名	団体要件	事業要件	対象経費	市民利益寄与	計画の 具体性・ 成果見込み	理由
15	和泉市デイスコン協会	第13回和泉市地域交流デイスコン大会						
16	内田町ボランティア 蛍の会	蛍の放流・鑑賞会						
17	総合型地域スポーツクラブ大阪和泉光倶楽部	光明台地区を中心とした子どもと中高年齢者の身体づくり事業						
18	信太連合	信太連合(聖大祭・地車祭の安全対策、PR活動、清掃)						
19	一般社団法人障がい児の暮らしを支える会	障がい児の暮らしを支える会 地域交流会(夏祭り・人形劇)						
20	上代町 盆踊り実行委員会	令和2年度 上代町盆踊り大会						
21	緑ヶ丘世代間交流実行委員会	緑ヶ丘夏まつり						
22	「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い 実行委員会	第30回「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い						
23	国府校区納涼大会実行委員会	国府校区納涼大会						
24	パソコン会	障がい者のためのパソコン教室						
25	Glanz Wind Orchestra	慰問コンサート						
26	泉州信太山盆踊り保存会	伝承文化「泉州信太山盆踊り」保存・普及・交流事業						
27	いずみこどもAID	こどもの居場所CoCo 学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場『CoCo de おしゃべり』						
28	特定非営利活動法人 いずみの国の自然館クラブ	自然観察 自然史科学の普及・自然史資料の収集整理・研究出版・環境教育・自然館でのイベント事業						

審査対象団体リスト(それぞれの項目について○(可)・△(疑問)・×(否)の何れかを記入し、△又は×の場合は、その理由を理由欄に記入してください。)

【資料-5】

番号	団体名	事業名	団体要件	事業要件	対象経費	市民利益	計画の 具体性・ 成果見込み	理由
29	コーラスグループぶどうの木	東日本大震災支援ボランティア体験プログラム ム&報告会						
30	まちせみ・IZUMI実行委員会	まちせみ・IZUMI 2020						
31	はつが野街づくり推進委員会	はつが野祭り						
32	四季の味覚祭実行委員会	四季の味覚祭 ～地産地消による地域活性化イベント～						
33	一般社団法人いずみ障がい福祉サービス事業 所団体連合会	ハートフルフェスタ2020						
34	特定非営利活動法人 こどもNPOセンターいずみっ子	おもしろ体験型市場「こども市」						
35	ローズウッドー	アロマテラピーで植物の香りのある暮らし アロマヨガ体験						
36	いずみの国のいつくしみ市実行委員会	いずみの国のいつくしみ市						
37	いずみしっぽクラブ	犬の保護・里親とのマッチング活動 動物愛 護啓発活動						

令和元年度・令和2年度ちよいず事業スケジュール		
日 時	令和元年度分	令和2年度分
12月4日(水)	第3回判定会(実績報告審査)	第3回判定会(支援対象団体の審査)
↓ 12月中旬		支援対象団体可否決定通知書の送付
↓ 1月下旬	第4回判定会(実績報告審査)	
↓ 2月1日(土) ～ 2月29日(土)		団体紹介冊子や選択届出用紙を全戸配布 市民からの選択届出受付
↓ 3月下旬	第5回判定会(実績報告審査)	選択届出結果報告
↓ 4月上旬	交付確定	選択届出結果公表 変更交付申請受付
↓ 4月中旬		第1回判定会(変更交付申請審査)
		参加団体との意見交換会

新たな市民活動支援事業【支援金決定方法(案)】

「届出」による支援金の決定方式から、有識者等からなる選定委員会等による「審査方式」に移行することを検討するに当たり、必要な事項について検討するものとする。

<点線内は前回資料>

1. (仮称) 市民活動支援制度選定委員会 (案) 総数 10名

委員構成	想定委員	人数
市民活動に関する専門知識を有する者	学識経験者（大学教授） NPO関連団体 中間支援団体	3名
税理士	近畿税理士会より推薦	1名
市職員	市長公室長	1名
市民団体の代表	町会連合会 商工会議所	2名
公募市民	公募により募集	3名

現制度の
「判定委員」

※ちよいず制度における判定委員のメンバーに新たな委員を追加することを検討。

■所掌事務について

- (1) 申請団体の申請内容に係る書類審査（一次審査）
- (2) 申請団体のプレゼンテーション審査（二次審査）
- (3) 申請団体の実績審査 など

【検討1】

◇太枠に記した委員が、新たに設置（増員）する委員として検討しております。
増員する理由として、民意（市民意見）を確保することを目的として考えております。

【審議会における意見】

- ・民意（市民意見）を確保したいということも理解できるが、専門性の高い審査になることから市民委員には負担が大きく、また、審査される側にとって専門性のある委員に審査された方が審査結果に納得がいくこともあり、市民委員を入れるのは望ましくない。



【審議会答申案】

追加委員（案）について、「市民団体の代表」 ⇒ なし
「公募市民」 ⇒ なし

選定委員会における採点については、専門的知識や経験等が必要とされるため、公募市民等を追加することよりも専門性のある委員により審査した方が信頼性・公平性を担保することができるものとする。

2. 選定委員会による審査

(1) 書類審査＜一次審査＞

本制度により支援を希望する団体から、支援希望事業について申請書類の提出があることから事業内容を精査し、支援対象団体として適切かどうかを審査する。

支援対象団体として決定した場合は、二次審査へ進むことができる。

○申請書類（案）※ちよいず制度と同じ

- ・ 支援対象団体エントリーシート
- ・ 団体概要調書
- ・ 規約・会則・定款等及び役員名簿等の写し
- ・ 事業計画書
- ・ 収支予算書

■審査内容（案）

①申請団体の要件（※ちよいず制度と同じ）

次に掲げるすべての要件を満たしている団体とする。

- ・ 市内に事務所を有し、主として市内において活動をしていること。
- ・ 規約、会則、定款等市民活動団体の組織、運営等に関する定め及び役員名簿等を有していること。
- ・ 団体を組織する構成員が5名以上であること。
- ・ 法令、条例等に違反する活動をしていないこと。
- ・ 公序良俗に反する活動をしていないこと。
- ・ 宗教的活動又は政治的活動をしていないこと。

②申請事業の要件（※ちよいず制度と同じ）

次に掲げるすべての要件を満たしている事業とする。

- ・ 特定非営利活動促進法別表に掲げる活動に係る分野その他社会貢献に係る分野のものであること。
- ・ 営利を目的としないものであること。
- ・ 事業の主たる効果が市内で生じると認められるものであること。
- ・ 市民を主たる対象とするものであること。
- ・ 当該市民公益活動団体の構成員のみを対象とするものでないこと。
- ・ 支援金の交付を受けようとする年度に直接和泉市から他の補助金等の交付を受けていないこと。

③事業計画、予算案の審査

事業計画の内容が公益活動（共益・私益でないこと）であり、社会貢献活動にあたるか。予算案について、実行可能性があり適正な予算計画となっているか。など

二次審査へ進めるべき内容のものかどうかを審査する。

(2) 公開プレゼンテーション＜二次審査＞

一次審査（書類審査）を通過した事業について、申請団体のプレゼンテーションを評価基準に基づき採点をする。プレゼンテーションについては、限られた時間内におけるPRであり、発表者の技能により左右されることもあることから、申請書類も十分に加味した上で評価するものとする。

○プレゼンの流れ（案）

準備	2分	} 1団体あたり 10分 を想定 36団体の場合 ⇒ 6時間（360分）かかることになる。 ※要検討事項
発表	5分	
質疑	3分	

■審査内容（案）

- ① カテゴリー別に「審査基準」に基づき採点を行う。
- ② 採点方法は、各委員の（審査基準ごと）平均点を合計したものを得点とし、70点満点で採点する。
- ③ 採点結果に基づきランク分けを行い、予算の範囲内において配分率を決め、支援希望額に配分率を掛けて支援金額を算出する。

【カテゴリー】（案）

- ① 保健・医療・福祉・健康・地域ボランティア等
- ② 文化・芸術・スポーツ・生涯学習等
- ③ まちづくり・地域活性化・伝統文化継承（祭礼含む）・地域交流促進等
- ④ 環境保全・環境衛生・動物愛護等
- ⑤ 子ども健全育成・子育て支援等

※申請時に申請団体において、主な事業目的に基づきどのカテゴリーに属するかは申告してもらう。

【検討2】

◇事業の内容に応じてカテゴリーに分けて審査することを検討しております。
カテゴリーごとに審査する理由として、多種多様な市民活動を比較（採点）する上である一定の枠組みの中で審査の方が適切な評価が行えるのではないかと考えております。

【審議会における意見】

- ・一次審査（書類審査）及び二次審査（公開プレゼンテーション）における2段審査を行うことは、より審査精度を上げ透明性を高めるといったことでは評価できるが、すべての団体をプレゼンテーション審査することは現実的ではなく、少額な申請金額（上限10万円など）の場合や新規補助といった場合は、書類審査のみとするようなコースを設けるべき。
- ・カテゴリー分けについては、そもそも地縁型とテーマ型では事業が大きく異なることから、同じテーブルにおいて審査することに疑問があり、コース分けを行うなどして対応すべき。また、だんじりや夏祭りといった地縁型の事業のプレゼンテーションを見ても基本的には同じであり、良い悪いの評価はできないことから書類審査のみでいいのではないかと。



【審議会答申案】

支援コースの分類

（１）公益活動支援コース

ある特定の課題をテーマにし、社会及び地域の課題解決に取り組む公益活動を対象とする。

①チャレンジコース（初動・拡充）コース

要件	新規・継続事業（テーマ型）
年限	3年まで
補助率	1年目（新規事業のみ）：2／3以内 2年目（継続事業）以降：1／2以内
上限額	10万円
採点	採点せず、ランク分けもしない。⇒ 基本的に配分率は満額を想定
審査	選定委員会における書類審査（新規事業のみ面談あり）

②ステップアップコース

要件	新規・継続事業（テーマ型）
年限	なし
補助率	1／2以内
上限額	80万円
採点	採点し、ランク分けにより配分率を設定
審査	選定委員会における書類審査＋公開プレゼンテーション

（２）にぎわい創出コース

地域に縁のある団体が地域の活性化・交流促進・伝統文化継承（祭礼等）に取り組み、地域ににぎわいと発展を創出する事業を対象とする。

要件	新規・継続事業（地縁型）
年限	なし
補助率	1／2以内
上限額	80万円
採点	採点し、ランク分けにより配分率を設定
審査	選定委員会における書類審査＋面談

【審査基準】（案）

選定委員10人 ⇒ 各委員の合計点の平均点の合計を得点とする（70点満点）

※審査基準 配点（案）

審査基準		配点
公益性	①広く市民の共感が得られる事業であるか。	5
	②事業の成果が不特定の市民の利益につながる事業であるか。	5
	③地域の社会的課題の解決につながる事業であるか。	5
継続性	④事業の発展や継続的な展望が期待できる事業であるか。	5
	⑤事業の成果が広く波及する事業であるか。	5
実行性	⑥目的・効果が明確であり、実行可能な方法で事業計画、予算が立案されている事業であるか。	5
	⑦事業の成果が期待できる体制を確保できているか。	5
	⑧事業にかかる申請額が適切であるか。	5
自立性	⑨補助金だけに頼らず自己努力による財源確保に努めた事業であるか。	5
	⑩将来は補助金に頼らず自立した事業の実施に期待できるか。	5
	⑪団体の構成員や組織が安定しているか。	5
協働性	⑫広く市民や団体等が参加することができる事業であるか。	5
	⑬市民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか。	5
	⑭世代や地域等、幅広い交流、協力が図られる事業であるか。	5
合 計		70

※合計得点が、35点未満の場合は、支援対象外とする。

現状（案）では一律としているが、重要と考えられる項目については配点を増やすなどを検討

【採点基準】（案）

下記採点基準を参考に各項目について得点化する。

非常に優れている	優れている	普通	やや劣る	劣る
5点	4点	3点	2点	1点

【検討3】

◇市民活動を評価する上で、「公益性」、「継続性」、「実行性」、「自立性」、「協働性」の5つの項目において、それぞれの審査基準の設定を検討しています。
審査基準を設定する理由としては、市民活動を適切且つ公平に審査するための指標として定めることを目的として考えております。

【ランク】(案)

得点	ランク	配分率
70.0 ～ 60.1	A	100%
60.0 ～ 50.1	B	90%
50.0 ～ 45.1	C	85%
45.0 ～ 40.1	D	80%
40.0 ～ 35.1	E	75%
35.0 未満	支援対象外	0%

※配分率については、予算の範囲内に支援金額が収まるように流動的に決定する。

【検討4】

◇事業を得点化してランク分けすることで、ある一定の競争原理が働き、事業のマンネリ化を予防すると共に、より良い事業へより良い支援となるようにと検討しています。またランク分けすることで、予算の範囲内における支援となるように配分率を設定し、予算の範囲内における支援として検討しております。

【審議会における意見】

- ・ 審査基準における「自立性」について、制度自体がイニシャル支援なのかランニングも含めた支援なのか、つまり自立を促すのか、あるいは10年続いている事業が良いとするのか、市として自立性をどこまで求めるのかを整理すべきである。
- ・ 団体が自ら収益をあげ、自立していくことも必要であると考えますが、年限を定めることで支援を打ち切るとせっかく良い事業が立ち上がったにもかかわらず、事業が縮小されてしまうのではないかと懸念がある。
- ・ 地域の交流や活性化のために行われている事業（地縁型）について、新規性や先駆性といったことで評価することは適切ではない。また、地縁型の事業とテーマ型の事業とを同じ審査基準で審査することも適切ではないと考えられる。このことからコースの切り分けと審査基準を整理する必要がある。
- ・ 審査基準における14項目の配点について、項目毎に細かく採点するのか、「公益性」でひとくくりとするように大きくくくって採点するのか整理する必要がある。
- ・ ランク分けによる配分率の設定については、予算額により大きく影響することになることから、予算額が低くなることにより十分な支援につながらないといったことのないように調整願いたい。



【審議会答申案】

（１）公益活動支援コース

①チャレンジ（初動・拡充）コース

【審査基準】

審査基準		判定
公益性	①広く市民の共感を得られる事業であるか。	
	②事業の成果が不特定の市民の利益につながる事業であるか。	
	③社会及び地域の課題の解決につながる事業であるか。	
継続性	④事業の発展や継続的な展望が期待できる事業であるか。	
	⑤事業の成果が広く波及する事業であるか。	
	⑥補助金だけに頼らず自己努力による財源確保に努めた事業であるか。	
実行性	⑦目的・効果が明確であり、実行可能な方法で事業計画、予算が立案されている事業であるか。	
	⑧事業の成果が期待できる体制を確保できているか。	
	⑨事業にかかる申請額が適切であるか。	
	⑩団体の構成員や組織が安定しているか。	
協働性	⑪広く市民や団体等が参加することができる事業であるか。	
	⑫市民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか。	
	⑬世代や地域等、幅広い交流、協力が図られる事業であるか。	
先駆性	⑭これまでにない（少ない）新しい取り組みであるか。または、新たな視点、発想から提案されたものであるか。	
公開性	⑮事業内容を積極的に情報発信するように工夫されているか。	
	⑯より多くの市民が関心を持ち、事業に参加できるように工夫されているか。	

※申請書類（新規事業のみ面談あり）

《審査方法》

選定委員会において、申請書類を審査し審査基準に基づく6項目において「○・×」にて判定を実施する。

判定のうち、1つでも「×」があった場合は、支援対象外とする。

採点及びランク分けは行わず、すべての項目において○判定を得た場合は、支援対象団体と決定する。

すべての項目において、○判定を得た場合、

1年目（新規事業のみ）の場合

⇒ 対象経費 × $\frac{2}{3}$ = 「支援金額」（ただし、上限10万円）

2年目以降の場合

⇒ 対象経費 × $\frac{1}{2}$ = 「支援金額」（ただし、上限10万円）

②ステップアップコース

【審査基準】

審査基準		判定	配点
公益性	①広く市民の共感が得られる事業であるか。		10
	②事業の成果が不特定の市民の利益につながる事業であるか。		10
	③社会及び地域の課題の解決につながる事業であるか。		10
継続性	④事業の発展や継続的な展望が期待できる事業であるか。		5
	⑤事業の成果が広く波及する事業であるか。		5
	⑥補助金だけに頼らず自己努力による財源確保に努めた事業であるか。		5
実行性	⑦目的・効果が明確であり、実行可能な方法で事業計画、予算が立案されている事業であるか。		5
	⑧事業の成果が期待できる体制を確保できているか。		5
	⑨事業にかかる申請額が適切であるか。		5
	⑩団体の構成員や組織が安定しているか。		5
協働性	⑪広く市民や団体等が参加することができる事業であるか。		5
	⑫市民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか。		5
	⑬世代や地域等、幅広い交流、協力が図られる事業であるか。		5
展開性	⑭他の事業に対しモデル（見本）となる内容であり、他団体や他地域に広くひろがりをみせる事業であるか。		10
公開性	⑮事業内容を積極的に情報発信するように工夫されているか。		5
	⑯より多くの市民が関心を持ち、事業に参加できるように工夫されているか。		5
合 計			100

※書類審査（一次審査）＋公開プレゼンテーション（二次審査）により採点を行う。

《審査方法》

【一次審査】

選定委員会において、申請書類を審査し、審査基準に基づく6項目において「○・×」にて判定を実施する。

判定のうち、1つでも「×」があった場合は、支援対象外とする。

すべての項目において○判定を得た場合は、支援対象団体と決定し、二次審査へと進める。

【二次審査】

選定委員会において、申請書類、プレゼンテーション及び質疑事項を評価し審査基準に基づき採点し、ランクに応じた配分率により支援金額を決定する。

(2) にぎわい創出コース

【審査基準】

審査基準		配点
公益性	①広く市民の共感を得られる事業であるか。	10
	②事業の成果が不特定多数の市民の利益につながる事業であるか。	10
	③社会及び地域の課題の解決につながる事業であるか。	10
継続性	④事業の発展や継続的な展望が期待できる事業であるか。	5
	⑤事業の成果が広く波及する事業であるか。	5
	⑥補助金だけに頼らず自己努力による財源確保に努めた事業であるか。	5
実行性	⑦目的・効果が明確であり、実行可能な方法で事業計画、予算が立案されている事業であるか。	5
	⑧事業の成果が期待できる体制を確保できているか。	5
	⑨事業にかかる申請額が適切であるか。	5
	⑩団体の構成員や組織が安定しているか。	5
協働性	⑪広く市民や団体等が参加することができる事業であるか。	5
	⑫市民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか。	5
	⑬世代や地域等、幅広い交流、協力が図られる事業であるか。	5
集客性	⑭広く市民の参加が期待できる魅力ある事業であるか。	10
公開性	⑮事業内容を積極的に情報発信するように工夫されているか。	5
	⑯より多くの市民が関心を持ち、事業に参加できるように工夫されているか。	5
合 計		100

※書類審査 + 面談により採点を行う。

《審査方法》

選定委員会において、申請書類、面談及び質疑事項を評価し審査基準に基づき採点し、ランクに応じた配分率により支援金額を決定する。

※合計得点が50点未満の場合は、支援対象外とする。

■採点手法（案）

公平性・透明性を確保するための採点方法とするため、次に示す2パターンを検討。

課題としては、審査委員と申請団体との関連性及び極端な採点の防止。

公平性・透明性を確保するためのあり方として望ましい手法を検討。

●採点方法（案）パターン①

全選定委員の各項目における平均点の合計を得点化。

選定委員の中に関係性が疑われる団体の審査があった場合は、審査を自粛いただく。（自己申告）

平均点とすることから、審査を自粛する委員がいた場合でも得点化は可能。

団体番号1 ●●実行委員会

項目	公益性			継続性		実行性			自立性			協働性		
設問	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
1 A委員	4	3	3	5	3	5	5	5	3	5	5	4	5	5
2 B委員	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3 C委員	5	5	4	5	4	4	5	4	4	4	4	3	3	3
4 D委員	4	3	3	3	5	4	3	5	3	5	4	3	2	3
5 E委員	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
6 F委員	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
7 G委員	5	4	5	5	5	4	4	3	5	5	4	3	3	3
8 H委員	3	5	2	5	2	3	3	3	5	3	4	5	3	5
9 I委員	5	2	3	4	5	1	2	3	4	5	3	2	3	4
10 J委員	5	3	4	5	3	2	3	4	3	5	2	3	4	5
平均点	4.0	3.3	3.2	4.1	3.6	3.2	3.4	3.6	3.6	4.1	3.5	3.2	3.2	3.7
合計点	49.70													

《審査結果》

【団体番号1 ●●実行委員会】 得点 49.7点 ⇒ ランクC ⇒ 配分率 85%

【団体番号1 ●●実行委員会】 支援希望額 500,000円

《支援決定額》

計算式 500,000円 × 配分率85% = 425,000円

●採点方法（案）パターン②

全選定委員において各項目を採点し合計点を算出し、合計点の最高点と最低点をつけた選定委員の点数を各1名ずつ分を控除したものの平均点を得点化する。

選定委員の中に関係性が疑われる団体の審査があった場合は、審査を自粛いただく。（自己申告）

平均点とすることから、審査を自粛する委員がいた場合でも得点化は可能。

団体番号1 ●●実行委員会

項目	公益性			継続性		実行性			自立性			協働性			合計
設問	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	
1 A委員	4	3	3	5	3	5	5	5	3	5	5	4	5	5	60
2 B委員	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	55
3 C委員	5	5	4	5	4	4	5	4	4	4	4	3	3	3	57
4 D委員	4	3	3	3	5	4	3	5	3	5	4	3	2	3	50
5 E委員	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	42
6 F委員	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	27
7 G委員	5	4	5	5	5	4	4	3	5	5	4	3	3	3	58
8 H委員	3	5	2	5	2	3	3	3	5	3	4	5	3	5	51
9 I委員	5	2	3	4	5	1	2	3	4	5	3	2	3	4	46
10 J委員	5	3	4	5	3	2	3	4	3	5	2	3	4	5	51
															51.25

※最高点 A 委員、最低点 F 委員の得点を除き、他の 8 名の委員の得点の平均点を得点化する。

《審査結果》

【団体番号 1 ●●実行委員会】 得点 51.25 点 ⇒ ランク B ⇒ 配分率 90%

【団体番号 1 ●●実行委員会】 支援希望額 500,000 円

《支援決定額》

計算式 500,000 円 × 配分率 90% = 450,000 円

※採点表については、透明性・公平性の確保の観点から公表する。ただし、上記のように委員名は伏せるものとする。

【検討 5】

◇公平性・透明性を確保するための審査手法として検討しています。

審査委員における私情（団体との関連性・好き嫌い）は当然あるものであるが、それが採点に影響することは望ましくない。

公平性・透明性を確保し、適正な審査手法となるよう検討を行っております。

【審議会における意見】

- ・審査委員の人数によるものと考えられるが、5 人で審査するのであれば、採点方法のパターン②にすると 2 名が控除されてしまい 3 名の平均となってしまうことになるので、まずは選定委員会の人数を決めるべきである。また専門性の高い委員による採点であれば、控除する必要はないと考える。



【審議会答申案】

選定委員会については、専門性の高い審査委員 5 人で行うものとし、採点方法はパターン①において検討を進めるものとする。